

令和7年度 第1回

まなびや

実りある学会

～WEB&対面開催～

参加費
無料

事前
登録制

令和7年 12月19日 金

13:30～15:30 (13:00 接続開始)

演題

「浚渫土砂を活用した
炭素貯留効果に関する研究」

国土交通省 国土技術政策総合研究所
港湾・沿岸海洋研究部 主任研究官

内藤 了二 氏



主催

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

※CPD・CPDS申請中

CPDプログラム認定番号：JSCE〇〇-〇〇〇〇【〇.〇単位】

※土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答致しかねます。

CPDSプログラム：登録番号：〇〇〇〇〇【〇ユニット】（会場聴講者のみ対象）

本講演会はCPDSの学習履歴申請を主催者が行います。

お申し込み方法

右のQRコードまたは、下記URLより
必要事項をご記入の上お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/jK9iypteri>

※申し込み期限 令和7年12月12日（金）

※個人情報は、本講演会の開催目的以外には使用しません。



【お問い合わせ先】 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F

TEL：082-250-1902 <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo/>

広島技調



令和7年度 第1回 まなびや 実りある学舎



実りある学舎とは

最新技術に関する情報収集や発信の場として、また学識経験者や各分野のスペシャリストから知識を学び取り技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として、「実りある学舎」という講演会を毎年開催しています。

参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

講演概要

「浚渫土砂を活用した炭素貯留効果に関する研究」

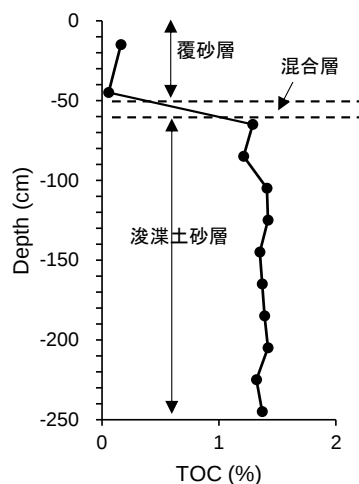
内藤 了二 氏



有機物を多く含む浚渫土砂は、海面埋立処分場所の確保が困難となっております。一部の港湾では陸上処分も行われております。港湾機能を継続的に維持するためには、航路・泊地の浚渫の継続的な実施は必須であります。浚渫土砂の活用先の多様化が課題となっております。造成干潟・藻場の基盤材や深掘れ埋め戻し材として、有機物を多く含む浚渫土砂を封じ込めることは、炭素貯留の役割を果たす可能性があります。この浚渫土砂の封じ込めが炭素貯留として効果的に機能するか否かは封じ込めた有機物が分解されずにどれだけ残るか（炭素残存率）に強く依存します。本研究は、有機物を多く含む浚渫土砂を干潟・藻場造成の基盤材、深掘れ埋め戻し材、埋立用材として封じ込めたことによる炭素残存率について現地観測及び室内実験を行い、炭素貯留効果の定量化に向けた検討をしました。この研究成果は、浚渫土砂に脱炭素（温室効果ガス排出削減）の観点での「付加価値」をつけることで、浚渫土砂の新たな活用方を検討に貢献することができます。



© 国土技術政策総合研究所 内藤了二



大島干潟における鉛直試料採取および炭素の鉛直分布

※内藤ら（2024）土木学会論文集，Vol.80，No.17，24-17259を引用して編集作成



講演会開催にあたっての留意点

- ・講演中は、カメラ・マイクをオフにしてください。
- ・CPDもしくはCPDSをご希望の方は、受講後に講演会に関する感想（100字以上）を含むアンケート※のご回答が必須となります。（説明内容の羅列記述・資料の丸写し等は不可）
- ・CPD申請希望者には感想受領後、受講証明書を送付いたします。

※参加者宛に後日QRコード及びURLをお送りします

※CPD・CPDS申請中